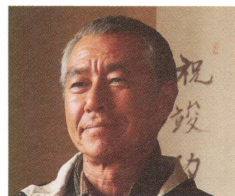
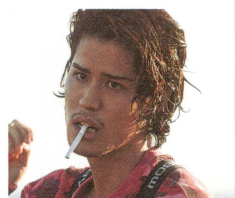


泣く子はいいねえが

金も、
仕事も、
自信も、
自分も、
何もない。
こんな俺でも、父親になれますか？

第68回
サン・セバスティアン国際映画祭
オフィシャルコンペティション部門
正式出品



NAMAHAGE

監督・脚本・編集：佐藤快磨
主題歌：折坂悠太「春」(Less+Project)
企画：是枝裕和

仲野太賀 吉岡里帆
寛一郎 山中崇 田村健太郎 古川琴音 松浦祐也 師岡広明 高橋周平 板橋駿谷 猪股俊明
余貴美子 柳葉敏郎

エグゼクティブプロデューサー：河村光庸 プロデューサー：大日向準 伴瀬萌 古市秀人
企画協力：分福 制作プロダクション：AOI Pro. 配給：バンダイナムコアーツ/スターサンズ
製作：2020「泣く子はいいねえが」製作委員会

生き方に迷う
すべての大人たちに贈る、
青春グラフィティ！

11月20日[金] 全国公開

nakukohainega.com

©2020「泣く子はいいねえが」製作委員会

是枝裕和が惚れ込んだ新たな才能！
今、世界が注目する
佐藤快磨監督劇場デビュー作品！！

親になることから、大人になることから逃げてしまった主人公が、過去の過ちと向き合い、不器用ながらも青年から大人へ成長する姿を描く。主人公・たすくを演じるのは、個性溢れる表現力で注目を集める演技派俳優、仲野太賀。たすくの妻・ことね役に、人気実力派女優、吉岡里帆。たすくの親友・志波役は若手最注目株、寛一郎。彼らを取り巻く面々に、山中崇、余貴美子、柳葉敏郎といった豪華俳優陣が集結。監督・脚本・編集は、本作が劇場デビュー作となる新進気鋭の佐藤快磨。秋田県・男鹿半島の伝統文化「ナマハゲ」から、“父親としての責任”、“人としての道徳”というテーマを見だし、約5年をかけて作り上げたオリジナル脚本は、是枝裕和をも唸らせた。「いつから人は大人に?」「大人になるとは?」誰もが経験する人生の通過点を圧倒的なリアリティで描き、観る人すべての心を鷲掴みにする!!



笑って、泣いて、叫んで。
彼の出した答えが、
あなたの胸に突き刺さる。

たすくは、娘が生まれ喜びの中にいた。一方、妻・ことねは、子供じみて、父になる覚悟が見えないたすくに苛立っていた。大晦日の夜、たすくはことねに「酒を飲まずに早く帰る」と約束を交わし、地元の伝統行事「ナマハゲ」に例年通り参加する。しかし結果、酒を断ることができずに泥酔したたすくは、溜め込んだ鬱憤を晴らすように「ナマハゲ」の面をつけたまま全裸で男鹿の街へ走り出す。そしてその姿がテレビで全国放送されてしまうのだった。それから2年の月日が流れ、たすくは東京にいた。ことねには愛想をつかさ、地元にも到底いられず、逃げるように上京したものの、そこにも居場所は見つからず、くすぶった生活を送っていた。そんな矢先、親友の志波からことねの近況を聞く。ことねと娘への強い想いを再認識したたすくは、ようやく自らの愚行と向き合い、地元に戻る決意をする。だが、現実はその容易いものではなかった…。果たしてたすくは、自分の“生きる道”、“居場所”を見つけることができるのか？

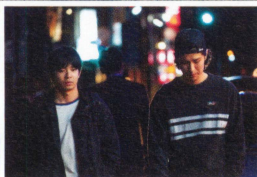


監督・脚本・編集：佐藤快磨
主題歌：折坂悠太「春」(Less+Project.)

企画：是枝裕和

エグゼクティブプロデューサー：河村光庸 プロデューサー：大日向 隼 伴瀬 萌 古市秀人

音楽：折坂悠太 撮影：月永雄太 照明：後関健太 録音：吉田憲義 美術：西尾共未 衣裳：馬場恭子 ヘアメイク：那須野 詞 小道具：故引英里
スクリーンライター：内田智美 音響効果：廣中 航 宇 キヤスティング：田端利江 スチール：草野 庸子 助監督：森本 晶一 制作担当：角田 隆 ラインプロデューサー：中円尾直子
企画協力：分福 制作プロダクション：AOI Pro. 配給：バンダイナムコエンターテインメント / スターサウンズ 宣伝：KICCORIT 製作：2020「泣く子はいねぇが」製作委員会
協賛：秋田海陸運送株式会社 株式会社豊瀬酒造店 株式会社寒風 株式会社清水組 秋田信用金庫 三和興業株式会社 株式会社秋田銀行 後援：男鹿市 秋田県



11月20日(金) 全国公開